

ボートレースの話題が集まるメディア向け情報誌

PROPEL

プロペル

[ボートレース場1日体験記]

- ① 舟券予想を楽しむ
 - ② ボートレース場を楽しむ
- ボートレースアンバサダー
植木通彦氏インタビュー

[ボートレースの楽しみ方あれこれ]

- ・全国に24あるボートレース場
- ・全国のボートレースチケットショップ
- ・どこでも舟券投票！テレボート
- ・主なボートレースメディアの紹介
- ・アンテナショップ紹介

Vol.35 ボートレースPR情報誌

Let's BOAT RACE
ボートレースを楽しもう!





初めてのボートレース 迫力に大興奮!

「ボートレースを観戦するのは初めて」という現役女子大生の2人が、大勢のファンでにぎわうボートレース江戸川にやってきました。案内役は、ボートレースアンバサダーの植木通彦さんです。疾走するボートを間近で見たり、舟券予想や投票をして、場内の施設を1日たっぷり楽しんでいただきました。

STEP 1 レース場に集合



駅からレース場までは無料バスが運行

ボートレース初体験のお2人は、深井雅美さん(下写真左)と、朝日奈しおりさん(下写真右)です。今回は、東京都江戸川区にあるボートレース江戸川にやってきました。さっそく案内役の植木通彦さんにご挨拶。優しい植木さんの笑顔に2人の緊張も解けて、さあ、初めてのボート体験です。

ボートレース江戸川までのアクセスは、最寄り駅から無料



▲入場ゲートは電車の改札口の様です。

送迎バスが出ていて便利です。最寄り駅から離れた場所にあるボートレース場でも、江戸川のように無料バスや無料タクシーが出ていますから、webサイトなどで確認してお出かけください。

では、入場門をくぐりましょう。料金は100円です。100円硬貨をゲートに投入して、初めての場内へGO!

STEP 2 走るボートを見てみよう



駆け抜ける6艇の轟音と水しぶき。「すごい迫力!」でした

植木さんが2人を案内したのは、大時計と1マークの中間地点、競走水面の真ん前です。ボートレース場には、水面際の中央部に大きな時計が設置されています。レーサーたちは、この時計を確認して、スタートをします。レースが始まり、目の前を駆け抜ける6艇。轟音と水しぶきと、「すごい迫力!」2人のテンションが一気に上がりました。



▲走り抜けていくボートの迫力を体験できるのはボートレース場ならではの!

STEP 3 舟券予想をしてみよう



出走表には出身地や年齢、体重、勝率など、さまざまなデータが掲載

レース観戦をした2人は、いよいよ舟券投票にチャレンジです。でも、深井さんは「舟券も楽しそうだけど、実際にボートに乗ってみたい」と、まだ興奮気味(笑)。

さて、舟券予想開始!どの艇が1着になるのか?どの艇が2着か、3着は何号艇か?といっても、初めての2人ですから、何を判断材料にしていのか分かりません。ここで、植木さんのアドバイス。まずは対戦メンバーが掲載された出走表を手にとって、植木さんの説明に耳を傾けます。出走表にはさまざまなデータが記載されています。名前、年齢、体重、最近の調子や、出身地まで。このデータ、男子レーサーだけでなく、女子レーサーも同様です。出走表だけでなく、モニターにも、顔写真が映し出されて、いろんなデータが提供されています。いっそ、好みの顔で選びますか?



▲レース場内では、モニターでも情報が確認できます。

迷いに迷って、最後に決めた舟券は、深井さんは「ボートレースは1号艇(インコースからスタートした艇)が強いことと、勝率(レーサーの成績)を重視して」決定しました。朝日奈さんは「地元のレーサーが有利だと教えていただいたのと、勝率と、展示タイム(ボートレースは、レース前に1艇ずつ走って、タイムを計測する)の良かった艇を狙って」決めました。では、決めた舟券を購入するために、マークカード(投票用紙)を塗っていきましょう。



▲出走表を見ながら、マークカードに記入していきます。



▲マークカード 場内の投票コーナーに置いてあります。

STEP 4 舟券投票をしてみよう



舟券の種類は7つ。どの艇に投票するかを考えてマークカードの記入は間違えないように



▲発券機の前で予想が当たる!ように植木さんが祈ってくれました!

舟券には「単勝、複勝、2連単、2連複、3連単、3連複、拡連複」の7種類があります。1着艇だけを予想するのが単勝券で、6艇で走るボートレースですから1/6の確率で的中します。いちばん難しいのは3連単で、1、2、3着艇を着順通りに予想します。的中確率は1/120です。今回、2人が購入したのは、朝日奈さんが2連単(1、2着艇を着順通りに予想)で、深井さんは手堅く2連複(1、2着艇を順位にかかわらず予想)でした。マークカードの記入はとても簡単ですが、間違えたら大変なので、しっかりとチェックして、購入しましょう。2人の結果は、2連複を購入した深井さんが的中して、朝日奈さんは外れました。でも、2着争いが接戦になったレースで、2、3着が入れ替わっていたら、朝日奈さんが的中でした。深井さん、おめでとうございます!



やりました
すばり的中!

▲出走表に置いてあります。

レースだけじゃない、楽しさもいっぱい!



▲ボートレース江戸川：女性専用ルーム「Kaguyahime」は静かな空間。



▲ボートレース江戸川：念願のボートに乗ってみました!

ちょっとリッチに有料指定席

ゆったりと観戦できる有料指定席は、レース場ごとに特色が

ボートレース場には、無料で観戦できる一般席のほか、有料指定席が用意されています。自分の席を確保して、ゆったりとレース観戦ができる有料指定席は、レース場ごとに特色があります。カップルで楽しめるペアシートや、何人かのグループで過ごすことのできるスペース、畳敷きのスペースや、カラオケを歌いながらレース観戦ができる部屋、マッサージ機が無料で使えるサービスなど、お客様のために様々な趣向が凝らされています。

席にはモニターが設置され、訪れているレース場だけでなく、他のレース場で行われているレースの情報収集も簡単にできます。また、席を立たなくても、その場で舟券購入ができる場所もあります。有料指定席は、一般席では味わうことができない、ぜいたくな時間を楽しむことのできる空間です。各レース場の有料指定席の設備内容を確認して、快適な1日をお過ごしください。



▲ボートレース江戸川：有料指定席「MIYABI」のリクライニング席でゆったり観戦&投票。

24場名物メニュー・ユニークなサービス

ボートレース場には名物料理がいっぱい!



▲ボートレース江戸川：レストラン「笑和」でランチタイム!

今回、ボートレース江戸川でランチを楽しんだのはレストラン「笑和」。昭和の懐かしい洋和食メニューが再現され、中でも大人気なのは「豚モツ煮込み定食」!このように全国のレース場には名物がいっぱいあります。例えば大阪名物と言えばたこ焼きですが、ボートレース尼崎にはタコの変わりにコンニャクが入った「多幸焼き」があり、行列が出来るほどの人気メニューです。その他にもボートレース桐生は「ソースカツ丼」、ボートレース多摩川は「牛炊」、ボートレース常滑の「どて井」、長崎県にあるボートレース大村は「佐世保バーガー」など盛りだくさん。各地のレース場に出かけた際には、ぜひご賞味ください。

ご当地グルメ以外にも、ボートレース江戸川のように女性専用ルームがあったり、小さなお子さんが遊べるコーナーやマッサージコーナーが設置されているレース場もあります。ボートレース鳴門には、露天風呂からレース観戦のできる温



ボートレース江戸川のハズレ投票券を食べてくれるマッシュローは、リアルなヤギ型ロボット!

浴施設もあり(施設内で舟券を買うことは出来ません)、レース場で舟券投票して、お風呂に浸かりながら投票した舟券のレース観戦する愉快な体験ができます。

一人でも、家族連れで訪れても、カップルでも、女性同士でも、グループでも、いろいろなシチュエーションに合わせた楽しみ方ができるのが、今のボートレース場です。レース観戦の合間に、ちょっとした息抜きに、楽しさを広げてください。



まった〜、落ち着きます...

ボートレースアンバサダー

植木通彦氏インタビュー

新しいボートレースファンを増やしていきたい

本プロスポーツ大賞の授賞式を、今でも思い出します。その年、20代で初の賞金王(グランプリ)を獲って、獲得賞金が2億円を超えました。ボートレースファンからは、艇王とまで呼んでもらった私でしたが、プロスポーツ大賞の授賞式では、ボートレーサーの私は無名でした。授賞式の主役は、プロ野球やサッカーの選手たちでした。野球やサッカーの選手には盛大な拍手がありましたが、私の名前が呼ばれた時は、拍手が本当にパラパラと聞こえるだけで、自分のことを知らない人がたくさんいることを、思い知らされた瞬間でした。

私がこのボートレースアンバサダーに就任して何をしようかと考えた時、まず思い浮かんだのは、このプロスポーツ大賞でのさみしさでした。ボートレースを野球やサッカーに負けたくない人気スポーツにしたい、それが今の目標です。実は今の立場になって、私は各地のボートレース場に出かけるようになりました。何十年ぶりに場内を歩き驚きました。こんなに清潔感があり、きれいなところだと思いませんでした。現役の頃には場内に入ることはありませんし、引退後はボートレーサー養成所(旧やまと学校)で校長をしていましたので場内を見る機会がありませんでした。

私は改めてボートレース場全体を見学したことで、ボートレース場以外でイベントをやりたいという思いに駆られました。最初は参加者が少なくてもいい、イベントに来てくれた人に、ボートレース場に足を運んでもらうきっかけを作りたいです。そうして、ボートレース場に行ってくれた人がイメージを変えてくれると思います。さらに、ボートレースの面白さも体感していただくことで、新しいボートファンが増えると思います。

これから、ボートレースの広報スタッフたちとたくさんアイデアを出し合いながら、多くの人にボートレース場に来てもらえるような活動をして行こうと考えています



▲ボートレース江戸川：リラクゼーションルーム「powerspot」で休憩。

いろいろな場所で楽しめるボートレース!

全国に24あるボートレース場

ボートレースの魅力は、駆け抜けるボートのモーター音と水しぶきです。テレビ観戦でも十分に楽しめますが、機会があるなら、ぜひボートレース場に足を運んで、生で観戦してください。ボートレースを観戦できるレース場は、全国に24カ所あります。水上競技なので、海岸沿いに設置されたところが多いのですが、中には群馬県のボートレース桐生のように、内陸部で楽しめる場所もありますし、東京や大阪といった大都市でもボートレースを楽しむことができます。

まずは近場のレース場を見つけ、そこをホームプールにして、それから先は、旅行がてら全国のレース場に足を伸ばせば、水面の特徴も場内の雰囲気もそれぞれですから、新たな発見と興奮を堪能できるでしょう。



全国のボートレースチケットショップ

ボートレースチケットショップは、ボートレース場以外で舟券を購入できる施設で、全国に70カ所以上あります。レース場が設置されていない東北や北海道にもあります。レース場に足を運ぶことができなくても、チケットショップでボートレース観戦を楽しむことができます。チケットショップでは、最大で12ボートレース場の舟券が購入できます。たくさんのモニターを眺めていると、目移りしてしまいそうですが、目をつけたレースを選択して楽しめます。お気に入りのボートレーサーを応援したり、特定のレースだけを狙ってみたり、レース場にはない楽しみ方ができます。



どこでも舟券投票!テレボート

ボートレース場やチケットショップにも行けないという方のために、電話やインターネットで舟券投票ができるのがテレボートです。携帯端末を片手に手軽に操作でき、気楽に舟券投票を楽しむことができます。また、特設webサイトも用意されていて、ネット上からもたくさんの情報を収集することができます。自宅でも外出先でも、ちょっとした時間があれば、その日に開催されているレースすべてに投票することが可能なテレボートなら、狙い目レースを見逃すことなく投票できます。スマホやパソコンがあれば、その場所がレース場です。仲間とワイワイ盛り上がるアイテムとしてもおすすめです。



テレボートマスコットキャラクター「クマホン」

主なボートレースメディアの紹介

(テレビ)

●JLC(日本レジャーチャンネル)
スカパー!、ケーブルテレビで視聴可能。1日中ボートレースに関するあらゆる情報を発信するボートレース専門チャンネル。合計8チャンネルで、レース中継はもちろん、展望番組や、勝利者インタビュー、ボートレースのニュース、ボートレース関連のパラエティ番組など、充実したコンテンツで、ボートレースの魅力を送信中です。



JLCの人気トーク番組「坂上忍のボートレースに乾杯」。坂上忍がボートレースにゆかりのあるゲストと酒を酌み交わし、ボートレースの魅力を開き出します! 2018年度放送分も元広島カープの川口和久さん、元日本テレビアナウンサーの徳光和夫さんなど多彩なゲストが登場! ボートレースアンバサダー植木通彦さんも#22の回に出演しています。

●「BOAT RACEライブ 勝利へのターン」

BSフジ 毎週日曜日
16:00~16:56。
司会に島崎和歌子さん、堂前英男さん、解説に秋山基裕さんが出演するボートレース情報番組。毎回チャレンジャーとしてゲストを迎え、舟券予想対決を展開します。ボートレースビギナーからマニアまで楽しめる番組です。



(ラジオ)

●「MAX・邦丸 Ride on Boat」

毎週日曜日 文化放送/16:00~16:55
ラジオ大阪/16:30~16:55
パーソナリティは、MAX、フリーアナウンサーの野村邦丸さん、高尾晶子さん。旬な話題や音楽の話、ボートレースビギナーのMAXの3人が、ボートレースの知識豊富な高尾さんからレクチャーを受けるコーナーなど盛りだくさん。



(雑誌)

●BOATBoy

ボートレースの情報が満載の月刊誌。SGやGIレースの特集はもちろんのこと、人気レーサーのインタビュー記事や舟券予想以外のユニークな企画まで、ボートファンなら読まざるにはられない内容です。



●マクール

蛭子能収さんの表紙絵で人気のボートレース月刊誌。さまざまな切り口からボートレースを深読みします。迫力の写真と、詳細な情報が、おもしろく、読みやすく掲載されています。



●マンスリー

BOAT RACE
ボートレース場やチケットショップに無料で置いてある情報誌。全国のレースガイドや、GI、SGの特集号なども発行されていて、無料とは思えない内容の濃さです。



アンテナショップ紹介

ボートレースのアンテナショップは全国に3カ所あります。ボートレースにちなんで飲食メニューや、ボートレースに関する情報を発信しています。



ボートレースアンテナショップ札幌・すすきの/札幌市(すすきの)
北海道札幌市中央区南5条西2丁目サイバーシティビル1階



ボートレースアンテナショップ名古屋・大須/名古屋市(大須)
愛知県名古屋市中区大須2丁目21番32号 第3アメ横ビル1・2階



ボートレースアンテナショップ沖縄・国際通り/那覇市(国際通り)
沖縄県那覇市久茂地3丁目29-70 ココスガーデンテラス1階



植木通彦プロフィール

現役時代は最高峰のレースであるSG(スペシャル・グレード)で5年連続の優勝を飾るなど、圧倒的な強さで「艇王」と称されたトップレーサー。デビューして3年目の1989年1月に、ボートレース桐生で事故に見舞われたが、半年後に、同じ桐生でレースに復帰した。負傷した水面を復帰の舞台に選んだのは、自分自身を奮い立たせるためだったという経緯から「平成の不死鳥」とも呼ばれた。その後は数々の記録と名勝負を残し、約20年間の現役時代の獲得賞金総額は22億6000万円を超え、2007年に39歳の若さで惜しまれつつ引退。

引退後は、ボートレーサー養成所(旧やまと学校)の校長を務め、今年からはボートレースアンバサダーとして、ファンとの交流など、活躍の場を広げ、ボートレースの普及に尽力している。



▲2005年ボートレースオールスター(笹川賞)表彰式にて

ボートレース江戸川

〒132-0033 東京都江戸川区東小松川3-1-1

ボートレース江戸川

検索

周辺には町工場が建ち並び、昭和の雰囲気味わえるボートレース場です。入り口で大魔神像に迎えられ、場内に入ればなつかしい名画のポスターがズラリと飾られています。競走水面は全国24場の中で唯一、河川を利用しているため、屈指の難水面として知られます。逆転シーンも多く、走り慣れた地元ボートレーサーが活躍するレース場です。



[交通]

最寄り各駅(平井・西葛西・船堀)より無料送迎バスをご利用ください。

無料バス所要時間

- JR総武線/平井駅北口より約15分
- 東京メトロ東西線/西葛西駅南口より約10分
- 都営新宿線/船堀駅より約5分

PICK UP BOAT 注目の RACER 選手



シンクロナイズドスイミング元日本代表!

かずもり ひかる

登録番号5021 計盛 光(大阪)

アーティスティック(シンクロナイズド)スイミング元日本代表、W杯銀メダルの経歴を持つ。選手の大型化が進むシンクロ界では弱点となる156cmの身長を生かし、好きなモータースポーツができる道としてボートレーサーを選んだ。2018年5月にプロデビューして、今は勉強中の身。“ボートレース界のマーメイド”のこれからの期待したい。

日本財団の紹介



日本財団に関する情報はこちらから ▶ <http://www.nippon-foundation.or.jp/>

日本財団会長 笹川陽平ブログ ▶ <http://blog.canpan.info/sasakawa/>

民の立場から公への貢献をモットーに内外の現場で公益活動を実践。年の三分の一を海外活動に充て、海外情報や時事問題など多角的視点から情報を発信しています。

日本財団会長の 笹川陽平ブログ



取材の申し込み・お問い合わせはこちらまで



BOAT RACE 振興会
Boat Race Promotion Association

広報部 広報宣伝課

〒108-0073

東京都港区三田3-12-12 笹川記念会館

TEL 03-3451-0501 FAX 03-3451-0429

BOAT RACE 振興会ウェブサイト

▶ <http://www.boatrace-pr.jp/>

BOAT RACE オフィシャル web

▶ <http://www.boatrace.jp/>

BOAT RACE
オフィシャル web



IS 563662 / ISO 27001:2005

「ISO/IEC27001:2005」を
認証取得

BOAT RACE 振興会は、2010年7月25日付で、全部門を対象とした情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)の国際認証基準「ISO/IEC27001:2005」を認証取得しました。